(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和4年6月15日

都道府県知事

川勝 平太殿

提出者

住 所 長野県千曲市大字寂蒔880番地

氏 名 丸善食品工業株式会社

代表取締役社長 春日 靖史

電話番号 026-272-0536

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

	事	業	場	. (	の	名	称		丸善食品工業株式会社 富士小山工場
	事	業	場	の	所	在	地		静岡県駿東郡小山町菅沼884-1
	計		画		期		間		令和3年4月1日~令和4年3月31日
当意	亥事美	業場に	おい	て到	見に行	亍って	いる	事	業に関する事項
	1	事	A Park	業	の	利	重	類	清涼飲料製造業
	2	事	3	業	の	,	見	模	資本金8千万円 製品出荷額等 75億円
	3	î	往	***	Ě	員		数	140名
	4	産 一 〕	業 車 <i>の</i>		落 :: 理	棄	物 工	の程	製造工程 動植物残さ 自社で中間処理(脱水)→委託先処理(中間処分肥料化) 汚泥 自社で中間処理(脱水・乾燥)→委託先処理(中間処分肥料化) 廃プラスチック類→委託先処理(中間処分サーマルリサイクル、マテリアルリサイクル ガラス類→収集運搬→マテリアルリサイクル 廃乾電池→収集運搬→マテリアルリサイクル 廃戦電池→収集運搬→マテリアルリサイクル

(日本産業規格 A列4番)

産業	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項									
	(管理体制図)									
	Ī	統括責任者								
		工場長								
		廃棄物担当者								
	飲料課責任者	質   H   食   食   日   日   日   日   日   日   日   日								
産業	ਞ廃棄物の排出の抑制に関する¶ 	<b>F</b> 項								
		【前年度(令和 3年度)実績】								
		産業廃棄物の種類_ 別紙のとおり								
		排 出 量_ 別紙のとおり t								
	①現状	(これまでに実施した取組)								
		・動植物性残さスクリュープレスによる脱水減量化 ・余剰汚泥をフィルタープレスで脱水減量工程。スクリュープレスによる脱水をし真空乾燥機で乾燥減量化。 ・余剰汚泥削減を目的とした酵素添加による、システムを設置 ・プラスチック類分別(色分け)後の産廃と資源プラスチック有価 ・廃酸中間施設(排水処理処分、焼却処分、メタン発酵処理による発								
		【目標】								
		産業廃棄物の種類_ 別紙のとおり								
		排 出 量_ 別紙のとおり t								
	②計画	(今後実施する予定の取組)       1. 発生抑制     ・工程内リサイクルを推進       2. 再生利用     ・再資源化、熱量利用       3. 中間処理     ・脱水効率の向上       4. その他     ・廃棄物リサイクル100%達成								
産業	・ 									
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								

自	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
【前年度(令和 3年度)実績】										
		産業廃棄物の種類_	別紙のとおり							
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t	t					
	①現状	(これまでに実施した取 「一」	組)							
		産業廃棄物の種類_	別紙のとおり							
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t	t					
	②計画	(今後実施する予定の取組) 「一」								
自	- ら行う産業廃棄物の中間処理に	関する事項								
		【前年度(令和 3年度	三) 実績】							
		産業廃棄物の種類_	別紙のとおり							
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t	t					
	①現状	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙のとおり	t	t					
		(これまでに実施した取組) 動植物性残さスクリュープレスによる脱水減量化 汚泥フィルタープレスによる脱水減量化と、汚泥に酵素添加による、汚 泥減容化 汚泥の乾燥設備による減量化								
		【目標】								
		産業廃棄物の種類_	別紙のとおり							
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t	t					
	②計画	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙のとおり	t	t					
		(今後実施する予定の取組)								
		汚泥脱水機 (スクリュープレス、フィルタープレス) 保守保全 効率向								
			上 茶殻脱水機 (スクリュープレス) 保守保全 効率向上							

自ら	っ行う産業廃棄物の埋立処分又に	は海洋投入処分に関する事	項						
		【前年度(令和 3年度)実績】							
		産業廃棄物の種類_	別紙のとおり						
	Control III.	自 ら 埋 立 処 分 又 は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 乗 物 の 量	別紙のとおり t	t					
	①現状	(これまでに実施した取 「一」	組)						
		【目標】							
		産業廃棄物の種類	 別紙のとおり						
		自ら埋立処分又は	ガリル(マン C 4O )						
		海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t					
	②計画	(今後実施する予定の取	組)						
産業	<b>に廃棄物の処理の委託に関する</b>	事項							
		〕実績】							
		産業廃棄物の種類_	別紙のとおり						
		全処理委託量_	t	t					
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t					
		再生利用業者への 処理委託量	t	t					
	①現状	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t					
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t					
		(これまでに実施した取	組)						

(第5面)

標】 業廃棄物の種類_ 処理委託量_	別紙のとおり	
処理委託量_	,	·
	t	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
後実施する予定の取	組)	
	処 理 委 託 量     再生利用業者への     処 理 委 託 量     認定熱回収業者への     処 理 委 託 量     認定熱回収業者以外の     製回収を行う業者への     処 理 委 託 量	処理委託量     再生利用業者への処理委託量     認定熱回収業者への処理委託量     認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への     大

別	紙

(第2面) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	(第2面) 産業廃業物の排出の抑制に関する事項												
	【前年度(3年度)	実績】	単位【 t 】										
現状	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚 泥	廃プラ	ガラス	蛍光灯	乾電池	廃油	廃酸	合 計			
	排出量	5, 075. 980	19, 149. 250	73. 14	0.080	0.050	0.014	5. 129	88. 604	24, 392. 247			
	【目標】					単位【	t ]						
② 計 画	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚 泥	廃プラ	ガラス	蛍光灯	乾電池	廃油	廃酸	合 計			
	排出量	8, 000. 000	16, 000	150	1	1	1	3	150	24, 306			
別:	別紙2 (第3面) 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項												
1	【前年度(3年度)		単位【 t 】										
現状	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚 泥	廃プラ	ガラス	蛍光灯	乾電池	廃油	廃酸	合 計			
	排出量	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	【目標】			単位【 t 】									
② 計 画	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚 泥	廃プラ	ガラス	蛍光灯	乾電池	廃油	廃酸	合 計			
	排出量	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	(第3面)	自ら行う	) 産業廃棄物	の中間処	1理に関 <sup>*</sup>	する事項							
	【前年度(3年度)	実績】		単位【 t 】									
1	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚 泥	廃プラ	ガラス	蛍光灯	乾電池	廃油	廃酸	合 計			
現状	自ら熱回収を行った産 業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	2, 537. 990	18, 710. 695	0	0	0	0	0	0	21, 248. 685			
	【目標】	【目標】					単位【 t 】						
2	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚 泥	廃プラ	ガラス	蛍光灯	乾電池	廃油	廃酸	合 計			
計画	②計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量		16,000	0	0	0	0	0	0	20,000			

## 別紙3

(第4面) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	【前年度(3年度)	実績】		単位【 t 】							
① 現	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚 泥	廃プラ	ガラス	蛍光灯	乾電池	廃油	廃酸	合 計	
状	自ら埋立処分又は海洋 投入処分を行った産業 廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	【目標】				•		単位【 t	]			
② 計	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚 泥	廃プラ	ガラス	蛍光灯	乾電池	廃油	廃酸	合 計	
画	自ら埋立処分又は海洋 投入処分を行った産業 廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	【前年度(3年度)	実績】	単位【 t 】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚 泥	廃プラ	ガラス	蛍光灯	乾電池	廃油	廃酸	合 計	
	全処理委託量	2, 537. 990	438. 555	73. 14	0.080	0.05	0. 014	5. 129	88.604	3, 143. 562	
1	優良認定処理業者への処 理委託量	0	5. 015	73. 14	0.080	0.000	0.000	4. 229	0	82. 464	
現状	再生利用業者への処理 委託量	2, 537. 990	433. 540	73. 14	0.08	0.05	0.014	5. 129	88. 604	3, 138. 547	
	認定熱回収業者への処理 委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理 委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	【目標】 単位【 t 】										
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚 泥	廃プラ	ガラス	蛍光灯	乾電池	廃油	廃酸	合 計	
	全処理委託量	4,000	750	100	2	2	1	6	300	5161	
② 計 画	優良認定処理業者への処 理委託量	0	5	100	2	0	0	5	20	132	
画	再生利用業者への処理 委託量	4000	745	100	2	2	1	6	280	5136	
	認定熱回収業者への処理 委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理 委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	